

高齢者にやさしいコミュニティバスのシステム設計

目的

現在日本では、高齢化が進んでおり、高齢化社会に対応した公共交通手段が必要になってきます。そこで私たちは、高齢者にやさしいバスのシステム設計を行いました。

顧客の要望

バス停までの距離が遠い
時間が合わない

問題解決

予約制にしてバス停まで行かなくてもいいようにする

システムの流れ

担当者がルートを作成

予約

報告

伝達

顧客に報告

ルート作成の基準

- 距離が近い順に乗せていく
- 予約時間が重複した場合は先に予約した人が優先される

電話またはインターネットから予約

定期的に乗車することを予約することができる

運行

目的地までバスが送迎する

多人数を乗車していくので、タクシーよりもコストを抑えることができる。

まとめ

- システムではバスを予約することによって時間などの指定やバス停まで歩くことが減る。
- 体力の低下している高齢者に対して外でバスを待つという行為を減らすこともできる。

金沢工業大学
2009年度 プロジェクトデザインII

プロジェクトテーマ : 高齢者にやさしいコミュニティバスのシステム設計
クラス番号 : EE303
チーム番号 : 1
チーム名 : THE金子
チームメンバー名 : 石澤 香心 大庭 秀紀
金井 駿来 塩見 良知
高井 克樹 中森 正太郎
担当教員名 : 松石正克 武市祥司